

Date: 2019 / 10 / 26

Name: 橋本隆史

水野さんの発表から、

撮影技術により、撮れど画、見れど画は、
確かに変わると思います、

この場合、ある程度伝えたい画、見せたい画が
自分の中で考えとして、(おモツとしていないと
撮れないかと...

一方で、《TRANSITION》の素材のように、

明解な目的なく撮影した素材も、
尤もな意味を持ち、編集に使う価値としたいと思います、

考えて撮るのがいいのだから...

撮って考えるのがいいのだから...

撮りながら考えるのがいいのだから...

いろんな手法を試せばいいかな又又それがいいかなと
思います。

Date: 2019 / 10 / 26

Name: 神野真実

水野先生からかねてより聴いてきた

Transitionの作品を観点から見て良かった。

撮影中に何度も水野先生にお会いして、

精神的にも身体的にもエクストリームな状況の

中で、日々記録を残すという点、その解釈を

あきらめのない態度がある点からこそ生じた

作品の面白さを改めて感じた。

あえて定性的に望む。今回、ワークの中で、

記録をし、解釈可能なところをあきらめずの

対象に向きあっている点に思い至した。

Date: 10 / 26 / 2019

Name: 牧野岳

<映像に対して>

大橋さんの言う texture と言うのと、映像中の音楽の選曲がそれを表現していたのがとても感じました。

通常の生活よりも、自分の中に入ってくる情報量が多い感じがしました。自分が水戸先生や大橋さんに出会って、友人が出産していたり（たぶんまだ産後ではないかな）、その工夫や意図があるなと気づくようになって。

想像以上に奥深かったから、た復のことも多かったです。そこが transition っていうところも表現して、とても感じました。

Date: 2019 / 10 / 26

Name: テイ

・ 去年夏祖母が亡くなった。その前、台湾に帰った時
何回祖母の写真や動画を撮った。それは毎回
は最後祖母と会った日になるかもしれない。
祖母は認知症、また慢性病で晩年体状態
あまりよくなかった。話もできなかった。
写真や動画を撮る時に、いつも他の家族に怒
られた。患者を撮ることくしかも自分意識がな
い)は患者の尊厳を尊敬していないという
家族が思っていた。

《Transition》を制作する時もそういう問題
が起きましたか。

Date: 2019 / 10 / 26

Name: 又伊

今日自分の研究テーマ(卒70D)にとても参考
になった。特に cultural probes と digital literacy
について考えさせました。12月に帰るので卒70Dに入り
込めは面白いと思います。

移住行に際してはかなしんとみずの先生
の関わり係り生かすようになった。すべての70Dセスも
いりかゝると、かなしんもとちゅうで70Dシエウク
に入れたため、timing も大事と気が付く。自分の
セス(とこまて / い7 / とのくすい)を ~~自信~~ 自信
ないといけないうと思った。

また、ただ日記録たしでなく、「何か」を
見出すことは自分に自信ない。とんない立場で
とんない意図をてま子のか、自分の70Dシエウク
も考えさせ、むすむすの面白いがします。

Date: 2019 / 10 / 20

Name: ケルル.

村松君の12才の子。同様に音楽の
同士の口を同じく投げかけた子
といふは面白いと思ふ。

また、村松君の家族は770-77022か
水曜日と思ふ。その子が。その子に
は、村松君の22才の子。

その子も面白い子。

水曜日のお話を聞かされた。

画家の山崎。面白いと思ふ。

Date: 19 / 10 / 26

Name: 小池 理奈

映像のとりかたによつて（例えば、対象者が自分であるとか、外から見るのかとか）とらえ方、とる人の関係がくっきりと異なるというところ。

どうやらこの録音するものが重要になつてくるなと思つた。

自分自身の Home を録音するときは、シーンのざくしゆみたうたことがおきてしまつたりするのかと、それはむづかしいかなと考へおまつた。

~~ただ~~ 雑 雑多な録音というコンセプトが記録しつづけられたことによつて、物理空間的な雑多さが心理的、精神的な雑多さが

どうもたのびがかおもしろいとおまつた。

たまたま”まぶ”は録音のキッカケが、↑という表現のふたがら”どうも”になることなにかとおまつた。

~~どう~~ どのシーンをく使用して、使用しないのか。

対象者自身と、その人と映像との関係が”まぶ”とむづかしいおもしろい。

HOME
in Tokyo

Date: 2019 / 10 / 26

Name: 西井 彩

昨日に引き続いてお話を伺って、「transition」は撮影者と被写体の距離感がとても近いからこそ制作できた作品だと改めて思いました。ミエさんが水野先生を信頼しているからこそ撮影が可能だったし、水野先生がミエさんを信頼しているからこそ色々なことに作品を完成させることができたのだと思う。

大橋さんはよく「映像ドットメンターは協働で作るもの」とおっしゃるし、~~実際~~「移動する家族」は編集に深く被写体が関わる。「transition」は協働の仕方がそれとは少し違う。👁️ 昨日

水野先生が「transitionはホクが主役」とおっしゃっていたように、この作品はある意味水野先生が被写体で、水野さんの中にいるミエさんや「君」を写す生活の切りとったもの。たのしみかも。水野先生の中にミエさんを取り込むという協働……？

HOME
in Tokyo

Date: 2019 / 10 / 26

Name: 田中 翔貴

音殺 写真を撮っていて、向教記録するのは、
を覚えていなかった。水野先生のお話を聞いて、
あたりまえにしている行動に対して問い直すことせ、問い
かけ方を付けていくと思う。

自分を対象として映像もつづけてお時の新しい
角度での方法や ドキュメンタリーとしての生々切り出し方
をどうしようか悩んでいるので考えていきたい。

移動 が 格動 で なる。移動した事によって
変化するものを対象として記録するのは、これ
自分にとっての移動な感じがする。というものを考えて
いきたい。

Date: 2019 / 10 / 26

Name: Hana Matsuo

今回の水野予先生のお話を聞いて、
どうやって限られた短い時間で、
不慣れな人々と関係を築き、
最も良い方法でコミュニケーションを取ることが出来るのかを考えた。景

クリエイティブな方法を必要とするのか？

また、プレゼンテーションは「話す」と

思うより、相手の話を聴くこと、

あとから後悔するということか？

あったらどうなるのか？と心算を繰り返した。

Date: Oct 126, 2019

Name: 初田 美記子

本日は収穫量の多い3時半でした。

まず、デザイナーの仕事の前提として

"何を分かったか?"

を改めて存在していることと再認識しました。

その後は様々なアイデアがありました。

- ① 記録をお大切に
- ② インタビューの面白さ(異なり視点の重要性)
- ③ 自由連想の応用
- ④ 1:1での記録画像に陥らぬよう苦しみ

の4点が非常に印象に残りました。

自分の作品は置換して考えていくと思いたいです。

Date: 19 / 10 / 26

Name: こじま 友子

◎ Cultural Probe とか、楽(えん)ごう!

作品に絡(か)りあうとして、これに
おまけとして XY... の...、試(し)してみたい!

◎ 対象(たいしょう)の身体性(ていしやうせい)を考えた コミニケーション!

何かして松葉(まつば)の...、ふだの街(まち)と
ちがう感じ(かんじ)が...、あはれ! あはれ! 話(わ)も

◎ "Transition" について.

語(ことば)が "な" と、いろいろ意味(いみ)を想(おも)い、話(わ)も
あはれ、文(ぶん)に... 決(き)まろうか、

見(み)る "な" の "な" の... こと。

(b) い... 語(ことば)を... 話(わ)も

と... 変(か)わりの... 話(わ)も

試(し)してみたい!

HOME
in Tokyo

Date: 2019 / 10 / 26

Name: 橋本 晴加

自分のパーソナルな部分をどう見せるか、
どう人に看見てもらえるのか、真佳いかなと
思いました。私が映像作家を撮ったなら
その人が暮らしを紹介するビデオ、という
だけになってしまいたいなーという不安
があるので、その生活を撮ること
自分にも、調査する相手にも、それを看見る
第三者の人にも、何か感じてもらえるには
どうしたらいいのが... 探りたいです。
相手の年齢や体格含め、どんな性格が
あるのかによっても、力のしかたを
変えていく必要があるんだなーと
思いました。